

大学の世界展開力強化事業 構想概要 一橋大学

【構想の名称】(タイプA-I)

アジア・ビジネスリーダー・プログラム。

【構想の概要】

Asia Business Leaders Program(ABLP)とは、一橋大学大学院国際企業戦略研究科(ICS)、北京大学光華管理学院(PKU)及びソウル大学経営学部・経営専門大学院(SNU)が結んだBEST Allianceを活用して行われる、革新的でグローバルな教育プログラムである。Allianceを最大限に活用して、MBAプログラムの学生対象のダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、3週間の短期集中プログラムのコア活動に加えて、ICS、PKU、SNU教員のチームによる共同研究、その成果を発表するシンポジウム、日、中、韓のグローバルCEOフォーラムなどの教育研究支援プログラムも実施される。

■ プログラムの目的・養成する人材像

○ 東アジアのビジネスリーダー

ABLPは、将来の東アジアのビジネスリーダーの育成を目標としている。このようなビジネスリーダーが備えるべき特性と知識とは、1)アジアの経済、政治、社会制度、文化、商慣習に対する理解、2)東アジアにおける企業のグローバル化に対応できるスキル、3)3カ国における現在そして将来のビジネスモデルとその構築に必要なリーダーシップの理解、の3点である。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

○ BEST Alliance

一橋大学大学院国際企業戦略研究科(ICS)、北京大学光華管理学院(PKU)、ソウル大学経営学部・経営専門大学院(SNU)は、BEST Allianceを結び、日中韓の将来のビジネスリーダーを育成するための協働教育プログラム構築に合意した。BESTとはBeijing、Seoul、Tokyoに由来する。

○ 日本、中国、韓国のビジネスリーダー育成の協働教育プログラム策定

アジア・ビジネスリーダー・プログラムでは、日、中、韓のトップ・ビジネススクールが協働して、将来の日、中、韓の経済界のビジネスリーダーを育成するための教育プログラムが設計される。この新教育プログラムを通じて、日、中、韓の未来のビジネスリーダーである学生は、日、中、韓のビジネスシステムを深く学び、グローバル化した企業内で活躍するための専門知識を磨きあげ、緊密で良好で持続的な関係基盤を構築する。教育プログラムによってICS、PKU、SNUの個々のカリキュラムと成績評価及び単位認定基準の調和はさらに促進され、学術国際連携の新たなベスト・プラクティスが誕生する。

○ ABLPのプログラム

ABLPのコア・プログラムは、MBAプログラムの学生を対象としたダブルディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、及び短期集中プログラムの3つの教育プログラムである。これらの教育プログラムのサポートプログラムとして日、中、韓の企業インターンシップである「ビジネス・フロンティア・インターンシップ・プログラム」、3カ国の主要企業のCEOによる講演を行う「グローバルCEOフォーラム」、東アジアのビジネスに関して2年に1回開かれるBESTシンポジウム、BEST提携研究プロジェクト(ICS、PKU、SNUの教員のチームによる共同研究)等がある。

〈BESTアライアンス提携プレス発表〉



■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 日、中、韓国のビジネスリーダー育成のカリキュラムを開発、世界に発信

1) 東アジアに適したビジネスモデルとリーダーシップのスタイルに基づき、日、中、韓の将来のビジネスリーダーを教育するためのカリキュラムを開発する。2) 教育の質に関する共通の基準(学生の評価、カリキュラムの評価、3大学間の単位認定に関する基準)を作成し、アジア地域に合わせた教育を提供することによって、アジア企業の未来のリーダーを育成する。3) 3大学の協働教育の成果報告及びその他のメディアを活用した社会普及活動を通じて、日、中、韓のみならず他のアジアの高等教育機関の連携のさきがけとなり、ビジネス教育プログラムの協働教育モデルを世界に発信する。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日、中、韓、共通の英語によるグローバルMBA

○3大学は、グローバルMBAプログラムとして実質的に同等なカリキュラム、成績評価方式及び単位認定システムを備えている。3プログラム全てで英語によるMBAプログラムが用意されており、各大学の教員とプログラム・ディレクターは高い英語力をもち、教材と学生に関する各種資料も英語で作成されている。3大学は交換留学生の受入れ、ならびに海外への交換留学生の派遣に関して十分な経験を備えている。

○ 留学生受け入れに確かな実績

○ICSは毎年海外の大学から約7~9名の交換留学生を受入れている。文部科学省による「ヤング・リーダーズ・プログラム」を通じて、アジアの留学生を15~16名受入れている。したがって、ICSは外国人学生のサポートに関する経験・インフラがともに充実している。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

2名のダブルディグリー・プログラム学生、4名の学期間交換留学生、10名の3週間短期集中プログラム「Doing Business in China」(中国における事業経営)、「Doing Business in Korea」(韓国における事業経営)参加学生が、それぞれ毎年北京、ソウル両大学へ派遣される。

○ 外国人留学生の受入れ

2名のダブルディグリー・プログラム学生、4名の学期間交換留学生、10名の3週間短期集中プログラム「Doing Business in Japan」(日本における事業経営)参加学生を、それぞれ毎年、北京、ソウル両大学から受入れる。

〈ICSキャンパスとシンボルマーク〉



	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	1	16	16	16	16
学生の受入	1	16	16	16	16